



活動項目	専門分野	標準名称	標準種別	分科会等	状況(制定)	5年毎改定時期	2023年度 R5年度			2024年度 R6年度			2025年度 R7年度			2026年度 R8年度			2027年度 R9年度			2028年度 R10年度				
							4	5	6	4	5	6	4	5	6	4	5	6	4	5	6	4	5	6	4	5
国内外の関連動向	■技術評価を希望する学協会規格 新規制要件に関する事業者意見聴取会において、技術評価を希望する規格をNRAと議論している。						技術評価を希望する学協会規格に係るNRAとの議論 8/22																			
	■学協会規格高度化 学協会規格協議会において、規制と事業者の安全性向上の取組みを含めた全体像を念頭に、我が国の学協会規格体系の充実、強化を検討している。						現行標準の分類と体系化の検討																			
	■実機プロジェクト研究、原子力リスク研究センター(NRRC)等でのリスク関連研究の実施 学会標準に適合し、実機の安全性向上評価に用いるPRAに適用することを目指すとした技術開発が進められている。						パイロットプラントにおけるリスク評価技術開発(地震津波重畳PRA(マルチハザード))(レベル1-2)手法高度化)																			
							実機プラントへのリスク評価技術の高度化及び拡大 ・地震・津波PRA(レベル1-2)手法高度化、内部火災・溢水PRA手法整備、SSH(プロセス確立、環境影響リスク(レベル3)、人間信頼性解析(HRA)、マルチユニットPRA等																			
確率的リスク評価(レベル1, 外的事象)	原子力発電所に対する津波を起因とした確率的リスク評価に関する実施基準:2016	基準	津波PRA作業会(※1) 外的事象 PRA分科会	発行済(2017.3)	2026.5 作業委員会再構成開始先送り	作業会再構成検討	作業会再構成調整	部会・委員会中間報告	部会本報告	委員会本報告	制定	発行														
				TR	評価事例集発行済(2013.3)	-	定例改定(予定)	部会・委員会中間報告	部会本報告	委員会本報告	制定	発行														
	原子力発電所の内部溢水を起因とした確率的リスク評価に関する実施基準:2012	基準	内部溢水PRA作業会(2016.11設置) 外的事象 PRA分科会	発行済(2012.9)	2017.9 重畳事象改定時期前半ガイド等発行状況要調査	作業会再構成検討	作業会再構成調整	定例改定検討																		
	原子力発電所の内部火災を起因とした確率的リスク評価に関する実施基準:2014	基準	火災PRA作業会(2016.11設置) 外的事象 PRA分科会	発行済(2014.6)	2019.6 重畳事象改定時期前半NRRC火災PRAガイド等を検討	作業会再構成検討	作業会再構成調整	定例改定検討																		
原子力発電所に対する断層変位を起因とした確率的リスク評価に関する実施基準:2021	基準	断層変位PRA作業会 外的事象 PRA分科会	発行済(2021.6.2)	2026.6	作業会再構成調整	定例改定検討	部会・委員会中間報告	部会本報告	委員会本報告	制定	発行															
確率的リスク評価(レベル2, 3)	原子力発電所の出力運転状態を対象とした確率的リスク評価に関する実施基準(レベル2PRA編):2016	基準	レベル2PRA分科会	発行済(2023.9)	階層化移行予定	発行	部会・委員会中間報告	部会本報告	委員会本報告																	
	原子力発電所の出力運転状態を対象とした確率的リスク評価に関する基準/指針/適用事例/英文版(レベル2PRA編):202X	基準/指針/TR	レベル2PRA分科会	階層化新規	-	停止時レベル2への適用範囲拡大	部会・委員会中間報告	部会本報告	委員会本報告	部会再本報告	委員会再本報告	公衆審査	制定	発行												
	原子力発電所の確率的リスク評価に関する実施基準(レベル3PRA編):2018	基準	レベル3PRA分科会	発行済(2018.9)	2026.3	37回 38回 39回 40回 新知見の検討と必要な事項の反映(性能規格化/階層化の検討を含む)	部会・委員会中間報告	部会本報告	委員会本報告	公衆審査	制定	発行	講習会													
標準の整備	外部ハザードに対するリスク評価方法の選定に関する実施基準:2014	基準	外的事象 PRA分科会	発行済(2014.9)	2024.9	部会中間報告 委員会中間報告	部会本報告 委員会本報告	制定	発行																	
	外部ハザードに対するリスク評価手法に関する手引き:2015	TR		制定済(2015.12)	標準と同時改定																					
核燃料施設のリスク評価	核燃料施設に対するリスク評価に関する実施基準:2018	基準	核燃料施設リスク評価分科会	発行済(2019.3)	2026.9	発電炉の関連標準の改定、内部火災PRA等の実施状況を踏まえつつ、定例改定に向け、適用範囲拡大の検討を含め関連する課題の調査・分析を継続	部会中間報告	部会本報告	委員会本報告	制定	発行															
標準共通事項	原子力発電所の確率的リスク評価の品質確保に関する実施基準:2013	基準	PRA品質確保分科会	発行済(2014.3)	2025.2	・リスク評価における共通事項に関する実施基準として再改定 ・V&V、Configuration Control規格化を併せて検討 ・標準階層化の議論の結果を受けて標準の位置づけを再検討	部会中間報告	部会本報告	委員会本報告	制定	発行															
	原子力施設のリスク評価標準で共通に使用される用語の定義:2018(英語版)(※2)	基準		発行済(2019.12)	各標準の制改定に併せて改定検討	各標準の制改定にあわせて改定を検討していく																				

活動項目	専門分野	標準名称	標準種別	分科会等	状況(制定)	5年毎改定時期	2023年度 R5年度					2024年度 R6年度					2025年度 R7年度					2026年度 R8年度					2027年度 R9年度					2028年度 R10年度																											
							4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
国内外の関連動向		<p>■技術評価を希望する学協会規格 新規制要件に関する事業者意見聴取会において、技術評価を希望する規格をNRAと議論している。</p> <p>▼</p> <p>技術評価を希望する学協会規格に係るNRAとの議論 8/22</p>																																																									
			<p>■学協会規格高度化 学協会規格協議会において、規制と事業者の安全性向上の取組みを含めた全体像を念頭に、我が国の学協会規格体系の充実、強化を検討している。</p> <p>▼</p> <p>現行標準の分類の検証と体系化の検討</p>																																																								
			<p>■実機プロジェクト研究、原子力リスク研究センター(NRRC)等でのリスク関連研究の実施 学会標準に適合し、実機の安全性向上評価に用いるPRAに適用することを目標とした技術開発が進められている。</p> <p>▼</p> <p>パイロットプラントにおけるリスク評価技術開発(地震津波重畳PRA(マルチハザード)(レベル1-2)手法高度化)</p> <p>▼</p> <p>実機プラントへのリスク評価技術の高度化及び拡大 ・地震・津波PRA(レベル1-2)手法高度化、内部火災・溢水PRA手法整備、SSHACプロセス確立、環境影響リスク(レベル3)、人間信頼性解析(HRA)、マルチユニットPRA等</p>																																																								
標準の普及		原子力学会の春・秋の年会での標準の議論	2023秋 ▼					2024春 ▼					▼					▼					▼					▼																															
		標準の講習会(上段:基本となる標準の定期開催、下段:新規制定・改定標準のタイムリーな開催)	<p>▼</p> <p>内的事象PRA(オンデマンド)</p> <p>▼</p> <p>内的事象PRA(オンデマンド)</p> <p>▼</p> <p>内的事象PRA(オンデマンド)</p> <p>▼</p> <p>内的事象PRA(オンデマンド)</p> <p>▼</p> <p>内的事象PRA(オンデマンド)</p>																																																								
			レベル2					地震PRA					品質確保					津波PRA																																									
標準の関連組織連携		国際的協調(国際会議発表、標準の英訳など)	ASRAM ▼					PSAM17 / ASRAM ▼																																																			
		国内外の関連組織連携(関連学会、原子力学会の関連委員会、技術部会など)との意見交換	<p>▼</p> <p>関連組織と適宜意見交換を行う (JANSI, NRRC, JSME, ASME, IAEA, ...)</p>																																																								
		JIWGを通じたASME/ANS/JCNRMとの協業 米国ASME/ANSの標準規格策定組織であるJCNRMとの意見交換や技術交換を、JCNRMの関連国際WGとして作成されたJIWGを通して実施することで、我が国の標準の国際化及びプレゼンスと品質の向上を行っている。	#15JIWG ▼					▼					▼					▼					▼					▼																															
			▼					▼					▼					▼					▼					▼																															
			▼					▼					▼					▼					▼					▼																															

※1:2015.3に内的事象PRA分科会を設置し、標準策定作業を移管した。  
 ※2:2016.6にPRA品質確保分科会へ標準策定作業を移管した。  
 ※3:破線部は今後の検討状況により、見直しも含め計画を検討していく。  
 略語:PSAM(Probabilistic Safety Assessment and Management conference)、ASRAM (Asian Symposium on Risk Assessment & Manage)、JCNRM(Joint Committee on Nuclear Risk Management)、JIWG(Japan International Working Groupe)